

プロトコーポレーションのIR活動

株式会社プロトコーポレーション 代表取締役社長 神谷 健 司

このたびは第21回（平成27年度）「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において新興市場銘柄部門の優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。

私は2014年4月に代表取締役社長に就任しましたが、これまでのIR活動を通じて資本市場と向き合う中で得た気付きについてお伝えしたいと思います。当社は、クルマ・ポータルサイト「Goonet」の運営を通じて、クルマ購入を検討しているユーザーや全国の中古車販売店の皆さまに当社の商品・サービスをご利用いただいています。当社の社名を知らない方でも「カーと言えばグー！」というフレーズは聞いたことがあるという方も多いのではないのでしょうか。

当社においては、11年ぶりの社長交代ということもあり、まずは私自身が大株主を始めとした機関投資家、アナリストの皆さまとのコミュニケーションを確立するため、IR活動を積極的に推進してまいりました。

私自身、中長期的な企業成長のためには、株主・投資家の当社へのご理解、ご支援が不可欠であり、経営目標達成に向けた事業計画・成長戦略の進捗状況を説明し、対話の中から頂いたご意見を経営に生かすことが重要だと考えております。このため、決算説明会、IRミーティング、国内カンファレンス、海外ロードショー、個人投資家向け会社説明会において、可能な限り自ら対話するとともに、IRミーティングにおいては、当社に期待いた

だいていること、改善を必要とすること、不安を感じていること等についてディスカッションさせていただくことで、資本市場から見た自社の経営課題を客観的に把握し、当社グループの経営に生かすよう努めております。

特に資本市場からは、①中期事業計画・成長戦略を定性的・定量的に分かりやすく説明し、資本市場から理解を得ること、②成長戦略の進捗を資本市場と共有し、実績を積み上げていくこと、③コーポレートガバナンスの改善、以上の3項目に関する改善要望を多く頂いているため、各要望について優先順位をつけて改善に取り組んでいます。

来年度を起点とする次回の中期3カ年計画においては、前述の3項目への取組みを通じて、資本市場から共感を得られる成長戦略を提示できるように進めており、実績を確実に積み上げていくことで、資本市場との信頼関係の構築と、中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

最後に、機関投資家・アナリストの皆さまからは、企業経営面のアドバイスのみならず、海外や他業種の事例も含めた当社商品・サービスの開発・改善につながるアドバイスを頂くことも多く、非常に感謝しております。今後とも、株主・投資家の皆さまとの対話を通じて、更なる成長を図ってまいりますので、引き続きご指導ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。